



小澤洋介、三戸素子、P. ヤング友の会ニュース No.21



2000年明けましておめでとうございます。

4月11日(火)にサンクト・フローリアン三重奏団、東京オペラシティで自主公演

独自の音楽活動をしているサンクト・フローリアン三重奏団は東京での自主公演(漠然とした表現ですが、クラシック音楽界に認知される、たとえば評論家が来て批評が公表される、メジャーホールで開催する、主な音楽誌にとりあげられる等を前提にする)を1995年津田ホール、1999年東京文化会館と今まで2回行ってきました。以前より一部の友の会会員より、できることなら毎年そのくらいの規模のコンサートを行ってこのトリオをもっとアピールしたい、という声がありました。今回4月は、そんな声を受けての嬉しい東京オペラシティ・リサイタルホールでの公演です。昨年の夏皆様にお知らせした友の会有志による「アルコールイリス基金」も経済的に支援します。

プログラムも、昨年11月の骨髓バンクコンサートで印象的だったベートーヴェンの「大公」をメインとした、お得意のモーツァルト、スメタナと美しい曲ばかり並びました。東京オペラシティは、新宿新都心・初台最近できた新国立劇場とならんで、今最も注目されているおしゃれな音楽スポットです。チラシも2月にはでき上がる予定です。大勢のご来場をお待ちしております。

骨髓バンクキャンペーンコンサートを堪能して...

友の会会員 水野春美

1999年(昨年)11月8日～11日サンクト・フローリアン三重奏団

柏でのコンサート 素晴らしいものでした。

それだけに空席がもったいなく どうにかならないのだろうか?と考えさせられました。

開催地近くの大学などに働きかけて、または中学、高校などに働きかけて当日学生券を1000円で売るなどして、もっと若い方に働きかけてはどうか、と思ったりしました。私はコンサートには足を運ぶほうですが、この三重奏団ほど胸を打つ演奏会はめったにありません。

幸い日本は子供がピアノを習うのが流行っているのです

から、若い魂を打つことは確かなことです。勿論 骨髓バンクに対しても、我々大人よりも胸打たれるでしょう。

途中フィリップさんのドイツ語による語りかけもうれしく思いました。ラジオ ドイツ語教室で頭の体操をしているだけのドイツ語理解ですが、内容が少しわかってうれしく思いました。

品川でのコンサートには娘も出かけて、感動しておりました。サンクト・フローリアンの皆様にブラボー!!をお伝え下さい。

友の会 会員の "雑感"

友の会会員 神吉(かんき)純一

1999年(昨年)12月15日 クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Vol.7

初めてお便りいたします。

去る1999年12月15日 横浜イギリス館でのMozartの弦楽四重奏のコンサートを堪能させていただき、筆をとりたくなりました。

奏楽堂のコンサートは何回か聴きに行っていますが、恵比寿に住むものとして、港の見える丘は、帰りのことを考えると躊躇して敬遠して参りました。しかし今回は何ともプログラムが魅力的で、しかも第14番「春」に惹かれてはるばると出かけました。というのも演奏会でこのK387を聴くのは実に40余年振りとなり、大袈裟に言えば、昔の感動を壊さない為に、今までこの曲を生で聴くのを避けていたようです。正確には何年だったかは怪しいものですが、中学生の頃日比谷公会堂で、来日したバリリー四重奏団を聴いて子供心に深く感動したのです。あの頃は小さいくせに、生意気にも来日する著名な演奏家のコンサートには足繁く出かけたものです。尤も当時の日本では、演奏家そのものが希有の存在ではなかったのでしょうか。昭和27年頃で、今は亡きそうそうたる名演奏家達に触れたのは幸運でした。そして、あの時聴いたバリリーの14番は、圧倒的な感動でした。その後、LPでもCDでも、あれ以上の調和の妙を聴いたことがありません。自分の中にある最高のMozartが、そのまま期待通りに耳に響いてこない限

り、演奏会は全く腹立たしい限りとなりますから、年をとってますます偏屈になるにつれ、14番は避けて来たしだいでした。折角コンサートにいったのに、文句をつけることが多くなり、かみさんにたしなめられることしばしばのこのごろですから。

イギリス館のような古い素敵なホールは、小編成の室内楽の演奏にはもってこいの雰囲気演出しますね。ザルツブルクのMozartゆかりのホールにいるような錯覚さえ覚えました。クライネス・コンツェルトハウスの響きも研ぎ澄まされていて、テンポといい、強弱といい、緊張感あふれていて"よかった"の一言につきました。特にフィナーレ楽章で、フーガの後に続く軽快な踊りだしたくなるメロディーは、あのバリリーを彷彿させました。嬉しくなりました。ありがとうございました。

そんな訳でかみさんと大満足で家路につきました。どうやらクライネスのMozartにはまりそうです。かつて日本モーツァルト協会が設立された折り、直ちに入会しケッヘル番号にちなんだ会員番号13番をもらいながら、高校生としてはその後会費(といってもたかだか年千円にも満たなかったはず)が払えず退会し、今となってはかえすがえすも残念な限りで悔し涙にくれているモーツァルト気遣いとしては、久々に心地良い夕べを楽しませていただきました。小澤さん、三戸さんの今後のご発展を、心から応援させていただきます。

友の会ニュースでは、皆さまのコンサートのご感想や自己紹介、また素朴な質問等の原稿を随時募集しております。今回もたくさんのご寄稿を有難うございました。

2月素子さんハンガリーへ

2月5日に素子さんはブダペストのリスト記念館でリサイタルをします。ここに招かれて出演するのは1998年の3月に続いて2回目。実はわたくし神谷まさ子はその時、ハンガリーに聴きに行っていたのです。その時の思い出を交えて、素子さんにインタビューしました。

神谷 ほぼ2年ぶりのブダペストでの演奏ですね。あの時は私にとっても初めて訪れたハンガリーで、町の雰囲気といい、あのリスト記念館の建物といい、とても感激しました。

三戸 リスト記念館は、昔リストが実際に住んでいただけあって、趣のある重厚な建物ですよ。現在リストの博物館になっている住まいのほかに音楽ホールがあって、以前は音楽院として使われていたそうです。そのホールで行われているコンサートシリーズです。

神谷 天井が高く、シャンデリアがあって、大きな木の椅子が壁にぐるっと作りつけてあって、その濃い木の色と白い壁と椅子の赤いピロートと、ここブダペストでは、音楽が生活の一部なんだな、と思わせるようなホールでしたが・・・。

三戸 そうですね。300席くらいでごんまりとしているけれど、リストがいつも座っていた席とかがあって、ここで様々な音楽が奏でられ、それをリスト

が聴いていたのか、と音楽の伝統のようなものを感じます。

神谷 前回のリサイタルで、CDにも収録されているバルトークのソナタが、その時聴衆の皆さんが感激したのが印象深く私もとても晴れがましかったです。演奏後、一人の老婦人が関係者だと思ったのか私に「久しぶりにバルトークらしいバルトークを聴いた。日本人がこんなにバルトークを弾けると思わなかった。」と英語で語りかけてきたほどです。

三戸 日曜日に行われるあのコンサートシリーズは、リストの時代から続いている「聴衆文化」のようなものがあって、お客様からも「受け手」というだけではなく、演奏者に対する要求のようなものがあり、私も身が引き締まる思いがします。特にクリスティーナは地元だけあって、絶対に失敗できない、という態勢でした。

神谷 ブダペストは、オペラやコンサートがたくさんあって、その帰りに見たブダ川に架かるライオン像で有名な「くさり橋」の夜景など、思いはつきません。この「友の会ニュース」が出るころは、ハンガリーですね。良い演奏になるよう応援しています。



あと残り 250 枚しかありません。

Beethoven & Bartók

上記の対談でも触れた三戸素子のCDの在庫があと250枚です。まだお持ちでない方は絶版となる前にお早めにお買い求め下さい。お申し込みは「友の会事務局」まで



ベートーヴェン：ソナタ第5番
へ長調作品24「春」
バルトーク：ソナタ：第2番
バルトーク：ハンガリー民謡集

¥2800 (税込定価)

小澤洋介、蜷川有紀クリスマス朗読会に出演

去る12月21日、東京恵比寿の「ガーデン・プレイス」でちょっとおしゃれな朗読会が開かれました。有名な演出家、蜷川幸雄の姪で女優、サントリー boss のコマーシャル等でおなじみの蜷川有紀さんが、1999年のクリスマスにふさわしい詩や小説の一節をあつめた、新しい舞台を企画。その朗読の対極をなすものとして、洋介氏に出演依頼がきました。

洋介氏は、その全く前例のないイベントに、最初の立上げから参加。2時間の舞台上、バッハの無伴奏組曲から10余りの舞曲を演奏しました。テレビ、コマーシャル等で第一線で活躍中の演出家、狩野喜彦氏の演出、大画面のイメージ映像、またヴァレンティノやディオールの衣装をまとうて目の覚めるように美しい蜷川さんと、華やかで大人の時間が繰りひろげられました。

様々な朗読の合間をぬって、演奏される洋介氏のバッハは時に淡々と、時に大宇宙を思わせ、また多くのファンを獲得したようです。



コンサートのご案内

2月5日(土) 三戸素子、クリスティーナ演奏会
ブダペスト・リスト記念館

2月23日(日) 世田谷区カルラホール演奏会

カルラホール 世田谷区経堂 3-16-12 03-3439-7507
カルラホールのご協力で227のコンサートの公開総練習を行います。
演目、出演者は以下の文化会館と同じです。

2月27日(日) クライネス・コンツェルトハウス

東京文化会館 ¥3,500 ハラミュージックエンタープライズ 03-3587-0218
ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
パークレー：クラリネット、ホルン、弦楽四重奏のための六重奏曲
ヤナーチェック：弦楽四重奏第2番「ないしょの手紙」

友の会割引有

三戸素子/山田耕司/二宮隆行/小澤洋介/山根公男/藤田乙比古

4月7日(金) 《モーツァルト》シリーズ第8弾

横浜イギリス館 ¥3500 ハラミュージックエンタープライズ 03-3587-0218
クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Vol.8
「モーツァルトピアノ三重奏曲集」第2弾！

モーツァルト：ピアノ三重奏曲
・ハ長調 KV548・ト長調 KV496・変ロ長調 KV502

4月8日(土) 第9回円覚寺ピアノ三重奏の夕べ

～骨髄バンクキャンペーンコンサート～
演目、出演者は以下の東京オペラシティと同じです。

4月11日(火) サンクト・フローリアン三重奏団 in 東京

東京オペラシティ ¥5,000 ハラミュージックエンタープライズ 03-3587-0218
モーツァルト：ピアノ三重奏曲 変ロ長調
スメタナ：ピアノ三重奏曲
ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲「大公」

友の会割引有

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円 郵便振替口座 00260-1-13926 加入者名：「友の会 小澤洋介・三戸素子・フィリップ・ヤング」